

施策評価シート(平成27年度評価実施)	担当部課名	企画部秘書広報課	関連部課名	
基本目標	市民とともに歩むまちづくり【協働・行財政運営】			
施策名	広報・広聴			
市民に開かれた市政運営にむけて、広報やホームページ、出前講座、パブリックコメント等による広報活動の充実を図るとともに、市民アンケート調査や市民対話、行政への市民参加体制の強化、市民相談窓口の充実などを通じて多様な広聴活動を推進します。				
<b>施策が目指す蒲郡市の将来の姿</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 行政情報を市民に伝えたり、市民の声を市政に反映させたりする広報・広聴活動が盛んで、市民の行政参加の場の確保が積極的に図られています。</li> <li>● 市民と行政が身近で信頼が築かれ、相互一体となった市政が運営されています。</li> </ul>				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 広報活動

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
広報がまごおり配布率	96.76%	95.49%	98.00%
定例記者会見等情報提供数	861	930	882

2 広聴活動

項目	平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度計画
地域懇談会の開催	市内7地区で開催	市内7地区で開催	市内7地区で開催
市長への手紙	165通	161通	150通

◆評価指標

指標名	区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	将来目標
広報がまごおり配布率	目標値	98.00%	98.00%	98.00%	
	実績値	96.76%	95.49%		平成32年度
定例記者会見情報提供数	目標値	40	40	32	
	実績値	32	34		平成32年度
記者リリース件数	目標値	850	850	850	
	実績値	829	896		平成32年度
新聞記事掲載件数	目標値	3,000	3,000	3,000	
	実績値	3,076	3,100		平成32年度
インターネットTV放送数	目標値	13	13	9	
	実績値	19	12		平成32年度
地域懇談会参加人数	目標値	400	400	400	
	実績値	353	364		平成32年度
地域懇談会参加者満足度	目標値	95%	95%	95%	
	実績値	96%	96%		平成32年度
市長への手紙投稿率	目標値	0.50%	0.50%	0.50%	
	実績値	0.58%	0.55%		平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
広報がまごおり配布率	年間平均配布数／年間平均世帯数×100
定例記者会見情報提供数	市長定例記者会見議題年間総件数
記者リリース件数	記者リリース年間総件数
新聞記事掲載件数	新聞記事掲載年間総件数
インターネットTV放送数	インターネットTV放送年間総件数
地域懇談会参加人数	年間参加人数の合計数
地域懇談会参加者満足度	参加者アンケート(5段階評価)において3以上と答えた方の割合(%)
市長への手紙投稿率	投稿数／配布数×100

◆指標の分析

・広報がまごおりの情報は、施設、社員寮などの準世帯や、流動世帯への配布に反映されない場合があると考察できる。記者クラブへの情報提供は、増加している。動画情報は継続的に、CATV放送、インターネットTVで放映する必要がある。

・地域懇談会は、平成24年度から実施。参加者数、参加者満足度を指標とし、参加者、満足度の上昇を目指す。市長への手紙は、広く市民の声を反映させるために実施し定着しているが、意見・提案・アイデアは少なく、個人的な要望・苦情が多いのが現状である。

◆今後の方針

<p>施策の課題</p>	<p>広報がまごおりの配布は、地域コミュニティ活動の一環として普及率を高める必要がある。オール蒲郡市として記者クラブへ積極的な情報提供が、情報伝達手段としての重要であるという意識の共有化を図っていく必要がある。動画情報を含めたシティプロモーション事業を積極的に進める。</p> <p>地域懇談会、市長への手紙は、ともに広く市民から意見・提言を聴取するために必要である。蒲郡市民全員が必ずしも地域懇談会に参加できるとは限らず、地域懇談会場で意見を述べにくい場合もあるため、市長への手紙も引き続き併用するのが望ましい。</p>
--------------	---

<p>今後の施策展開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オール蒲郡市として記者クラブへ積極的な情報提供を行うために、広報担当者会議を実施し、当該情報提供が情報伝達手段として非常に重要であるという意識を共有していきたい。</li> <li>・地域懇談会は、より多くの市民が参加し、意見を出しやすい会とするための開催方法を検討したい。市長への手紙は、余白部分を利用した広報紙に関するアンケートを検討し、市民の声を広報紙の制作に反映させていきたい。</li> </ul>
----------------	--

<p>課長評価</p>	<p>構成事業の進捗状況</p>	<p>B: おおむね計画どおり進行している。</p>
	<p>施策の進め方</p>	<p>B: 一部見直しが必要である。</p>
	<p>コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透明性のある分かりやすい広報・公聴、市民の機運が高まるシティプロモーション事業を積極的に推進すべきである。広報担当者会議を開催し、職員の意識改革を図っているが、さらに市役所内の横の連携を密にする仕組みを考察すべきである。</li> <li>・市長への手紙の多くが苦情であり、市役所を身近に感じていただけるような広報が必要と思われる。また、建設的な意見がいただけるような情報提供も必要と思われる。</li> </ul>

<p>部長評価</p>	<p>施策の進捗状況</p>	<p>B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり進行している。</p>
	<p>コメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に開かれた市政運営を進め、市民の市政への積極的な参加をはかる上で、広報・公聴は大切な位置を占めている。広報については、広報がまごおり、ホームページ、メール配信、パブリシティ(新聞社等への情報提供)など多くの媒体を通じて、情報を適切な時期に分かりやすく提供するかが課題である。パブリシティは、積極的に行われ成果をあげている。なお、ユーチューブなどの動画情報について検討課題である。</li> <li>・市長への手紙、市長対話、市民の声投書箱等多くの手法により意見を求めている。各種協議会等の委員に市民枠を設置するなど政策形成段階からの市民参加を推進し、市民の声を積極的に市政に反映させることも必要である。</li> </ul>